

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公開番号】特開2010-392(P2010-392A)

【公開日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2009-232040(P2009-232040)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月2日(2009.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

略円筒形状のメダルを用いて遊技を行う遊技機であって、

略半円筒状に設けられ、前記メダルの表面または裏面を形成するメダル面がそれぞれ当接することによって複数のメダルで成る略円筒形状のメダル群を、前記メダル群の側面が、前記遊技機の奥行き方向に沿うように配置可能なメダル配置溝と、

遊技者から見て、前記メダル配置溝の奥側に配置され、前記メダルの前記メダル面が当接されるメダル当接面と、

前記メダルを取り込む取込口を有し、前記取込口に取り込まれた前記メダルが正規メダルか否かを選択可能なメダルセクタと、

前記メダルセクタの前記取込口よりも高い位置に設けられるメダル誘導部であって、前記メダル配置溝の前記奥側の端部と前記メダル当接面との間から、前記メダル当接面に当接された前記メダルを 1 枚ずつ取り込み、当該メダルを前記メダルセクタの前記取込口に誘導するメダル誘導部と、

前記メダルセクタの前記取込口よりも高い位置に設けられると共に、前記遊技機の左右方向に延びるようにして前記メダル誘導部と連通するガイド溝であって、前記メダルが、前記メダル面が略鉛直方向に沿うように配置される起立姿勢となるように支持しつつ、当該メダルを前記メダル誘導部に転動させるガイド溝と、

を備え、

前記遊技者は、前記メダル配置溝を介して前記メダル誘導部に前記メダルを投入可能であると共に、前記ガイド溝を介して前記メダル誘導部に前記メダルを投入可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】遊技機